

平成 31 年度社会福祉法人沖縄エンゼル福祉会本部事業計画

1. 理事会

- ・理事会を、次のとおり年 2 回開催する。ただし、その時期以外にも必要に応じて理事会を開催することができる。
- ・第 1 回 平成 31 年 6 月 4 日（水） 10 : 00～
- ・監事会計監査 平成 31 年 5 月 14 日（火） 10 : 00～
- ・第 2 回 平成 32 年 3 月 25 日（水） 11 : 00～

2. 評議員会

- ・評議員会を次のとおり 2 回開催する。ただし、その時期以外にも必要に応じて評議員会を開催することができる。
- ・平成 31 年 5 月 29 日（水） 11 : 00～
- ・平成 31 年 6 月 19 日（水） 11 : 00～

平成 31 年度社会福祉法人沖縄エンゼル福祉会グッピー保育園事業計画

保育園の理念

熱帯魚グッピーのように子ども達が変動する社会、環境に適応して生きていけるたくましい力を育む。

保育園の方針

乳幼児の最善の利益を考慮し、倫理観に裏づけされた専門的知識及び技術を備えた上で保育に携わり、家庭及び地域と連携・協働しながら健全育成を図る。

- ・子どものしあわせのために職員が心を尽くし、保護者の子育てに寄り添い、支え、見守る。
- ・養護と教育が一体となり、子どもが安心して生活でき、豊かな人間性をもった子どもを育成する。
- ・職員は、質の高い保育を展開するために研修・自己研鑽に努め、幼稚園、小学校及び関係機関と連携を図りながら連続性のある子どもの育ちを見守る。
- ・家庭や地域の保育ニーズを把握し、特別保育事業（延長保育、障がい児保育）などを実施する中で子育てと就労の両立支援に努める。
- ・世代間交流、園庭開放、保育参加、育児相談、事実上のコミュニティーセンター的運営を実施する中で地域の子育て世帯を支援する。
- ・実習生、ボランティア、就労体験学生、高校教諭研修などの受け入れを積極的に行い、次世代育成支援する。

保育目標

- ・心身ともに健康な子ども
- ・友達を大切にし、協力できる子ども
- ・意思表示できる子ども
- ・自然や命の尊さを知り、大切にする子ども

1. 児童の処遇に関する計画

(1) 月齢及び発達を考慮した上でのクラス編成 園児数：51名（定員50名）

クラス名	年齢	定員数	現数	合計	担当保育士名
すずめ	0歳	6人	5人	5人	照屋利香 青木路子
めじろ	1歳	11人	12人	12人	奥平宣子 富山有沙
くいな	2歳	11人	12人	12人	運天高子 野原玲子
つばめ	3歳	11人	14人	22人	上江田有香 小禄文乃
	4歳	11人	8人		
人数		50人	51人	51名	8人

園長：ウィンフィールドひろみ

副園長：中田美奈子

主任保育士：金城牧子

フリー保育士：与那覇千賀子 仲宗根京子

特別保育事業担当（延長保育）：木下秀美 子育て支援員：前原桂 上間順子

調理員：我那覇さち子 ウィンフィールド麗美クリスティーナ

(2) 保育の全体計画（別紙のとおり）

目的：児童の発達促進に沿って保育計画案を立てる

(3) 保育時間

- ・開園：月曜日～土曜日
- ・休園：祝祭日、祝祭日の振り替え休日、慰霊の日、年末年始（12月29日～1月3日）
- ・開園時間：7：00～18：00
- ・通常保育時間： 8：30～17：30 延長保育時間：18：00～18：30（月～金）

(4) 行事に関する計画

目的：行事をとおして児童の成長、発達を保護者と共に確認する機会にする

- ・別添のとおり

(5) 給食に関する計画

目的：給食及び菜園活動などとおしての食育を実施し、栄養、調理管理をする

- ・岸本弘子栄養士に依頼し、月1回栄養士、園長、調理員で献立を調整し作成する。
- ・献立会議を栄養士と園長で年3回実施する。
- ・調理員の研修を年5回栄養士に実施してもらい、園児の食生活を豊かにする。
- ・発達に沿った調理体験をする。
- ・菜園づくり及びクッキングなどを子ども達とする。

(6) 健康管理計画

目的：児童の健康管理を学校保健法に基づき実施する

- ・諸検査（年1回） ・玉井修嘱託医師内科健診（あけぼのクリニック）（年2回）
- ・新城美由紀嘱託歯科医（たから歯科） 検診（年2回）

(7) 防災計画

目的：緊急時に備え、避難訓練を行う

- ・毎月10日前後に避難訓練を行う。 ・火災訓練12回、地震訓練2回

(8) 特別プログラム

目的：児童の心身を豊かに育てるために外部講師などによるプログラムを実施する

プログラム名	回数	対象年齢	担当者名
沖縄伝統文化継承プログラム ・空手指導（地域交流事業）	月2回	4歳	松田由絵
異文化体験プログラム ・英語であそぼう	毎週 月、火	1～4歳	ウィンフィールドひろみ 金城牧子 中田美奈子
日本文化体験プログラム ・お花 ・お茶	年6回 年6回	4歳	古賀美津子 大見謝博子
アートセラピー	月1回	4歳	真栄田寿賀子
紙芝居・読み聞かせ	年2回	3～4歳	仲門勇市
うんどうあそび	月2回	3～4歳	知念真（ベッピーノ体操クラブ）

2. 職員に関する計画

目的：職員の心身の健康管理、人材育成を行う

(1) 職務分担計画（別表1）

(2) 勤務計画 週40時間労働を実施し、職員と協議のうえ、勤務計画を作成する。

(3) 健康管理計画

- ・職員の健康診断は、年1回行う。
- ・調理員、調理に携わる職員及び乳児保育担当の検便は、毎月1回行う。

(4) 研修計画（別表2）

県内研修計画 ・那覇市、行政の実施する研修会に派遣する。

・園外から学ぶ研修に派遣する。

県外研修計画 ・園長を県外研修に派遣する。

・職員を県外研修に派遣する。

園内研修計画 ・月1回に保育関係書籍を読み合わせ、勉強会を持つ。

・園内研究をする。

・年間3～4回、保護者・地域の方々向けにミニ講演会（グッピーひろば）を開催し、職員の質の向上を図るとともに、共に学び合い、保育への理解を深める。

3. 保護者に関する計画

目的：子どもを中心に保育者と父母が協力し合って子どもの発達過程を見守られるように働きかける。

(1) 保育への理解と協力の促進

- ・父母の会、クラス懇談会、個人面談、家庭訪問、保育参加、園の行事等をとおして理解を深める。

(2) 保護者と共に学習会、講演会など企画実施し、子どもへの理解を深める

(3) 子育て支援などの特別保育事業に対する理解と協力

- ・地域のニーズに合わせて、相談、子育て支援を実施する

4. 地域交流に関する計画

目的：地域交流することにより地域との連携が円滑になるようにする

(1) 曙こども園、曙小学校との交流

(2) 地域との交流（曙街づくり協議会等）

(3) 子育てに関する図書の貸し出し

(4) 園庭開放

(5) 沖縄の文化（空手）を地域の方々にも広める（月2回）

(6) 子育て相談

(7) 「子育て応援デー」（市の全認可園が毎週火曜日実施、当園は、随時実施）

- ・園庭開放
- ・子育て相談
- ・保育参加
- ・給食試食（有料）

5. 次世代育成支援に関する計画

目的：次世代を育成することにより地域社会への貢献、協力を促し、安心して子どもを産み育てることができる地域社会の形成をする。

- (1) 就業体験学生を受け入れる
- (2) 保育士養成校からの実習生を受け入れる
- (3) ボランティアを受け入れる
- (4) 地域の子育て世帯へ園庭開放及び保育参加・体験を受け入れる

6. 施設の整備に関する計画

目的：施設整備を行い、安全、安心、児童の発達促進ができる施設にする。

- (1) 施設整備委員会を中心に施設の整備を全職員で行う。
- (2) 園庭に草花を植え、昆虫や植物に親しめるような環境を整える。
- (3) 手作り玩具、保育教材の研究をし、乳幼児の発達に応じた環境を整える。
- (4) クラスの整備については、各担当者が整備する。
- (5) 砂場の入れ替え（年1回）
- (6) 貯水タンク清掃（年1回）
- (7) 噴霧消毒（年2回）

2019 年度グッピー保育園研修予定表

研修名	日時	参加者名
全国保育問題研究大会（熊本県）	6月7日～9日	ウィンフィールドひろみ 野原玲子
全国私立保育園連盟研究大会 （熊本県）	6月11日～13日	ウィンフィールドひろみ 野原玲子
主任保育教諭特別講座 （神奈川県）	通年 6月22日～ 24日 9月28日～ 30日	金城牧子
障がい児保育研修	年6回	保育士
乳幼児保育研修	未定	青木路子 照屋利香
調理員研修	年5回	上間順子 我那覇さち子 ウィンフィールド麗美クリスティーナ
リズム研修	月1回	保育士
リズム研修	5月	保育士
経理研修	未定	中田美奈子 ウィンフィールドひろみ
沖縄保育問題研究会	毎月1回 第4木曜日	ウィンフィールドひろみ 野原玲子
施設長研修	未定	ウィンフィールドひろみ
那覇市、県主催の研修	未定	園長、副園長、主任保育士、保育士 調理員、子育て支援員
私立保育連盟、保育士会、 社会福祉協議会などの主催の研修	未定	園長、副園長、主任保育士、保育士 調理員、子育て支援員
キャリアパスのための研修	未定	該当職員